

## 戦争と国家、そしてナショナリズム

福田 宏 hfukuda@juris.hokudai.ac.jp

<http://hfukuda.cool.ne.jp/hokudai04a/>

(法学部 321 号室・706-3784)

(相談時間： 7/15(木) 15 時～17 時)

### I. 最終レポート締切は、7 月 27 日(火) 17 時 (事務室前レポート・ボックス)

28 日(水) 正午 (掲示板で面接時間の告知)

30 日(金) 9-12 時 (面接・希望者のみ)

- ・ 2000 字以上、テーマは自由
- ・ 締切厳守
- ・ 参考にした文献、資料を明記すること
- ・ 面接を希望する者は、その旨明記すること

### II. 今後の予定

7/16: パレスチナとイスラエル

7/23: ナショナリズムの問題と総括

### III. 「人道的介入」をめぐるグループ討論

最上敏樹『人道的介入 —— 正義の武力行使はあるか』岩波新書(新赤 752), 2001 年.

- ・ 「絶対平和主義」と「絶対倫理」との対決

武力行使は許されない vs 他者の苦しみを放置することはできない

「人の苦しみはそれを見た者に義務を負わせる」 ポール・リクール

- ・ 《狭義の人道的介入》と《広義の人道的介入》

狭義 —— 甚だしい人権侵害や非人道的状況を中止させるためという理由で、

個別国家が、国連の要請によらず自らの独断で武力行使を行うこと。

広義 —— 非人道的状況におかれた人々を救うためのあらゆる行為

### IV. 推薦文献 —— 「人道的介入」に関連して (+11 日の選挙に関連して)

- ・ 長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』ちくま新書(465), 2004 年.
- ・ 篠田英朗『平和構築と法の支配 —— 国際平和活動の理論的・機能的分析』創文社, 2003 年.
- ・ 相内俊一監修『主役交代 —— ひと目でわかる北海道政治地図 2004』北海道新聞情報研究所, 2004 年.